

款	50	教育費	目	65	歴史博物館事業費
項	25	社会教育費			

○事業名 歴史博物館展示事業 事業決算額 20,344,190 円

展覧会名	日数(日)	観覧者数(人)
企画展 「安城の今昔3 お米のモノがたりー知恵と工夫のむかしの道具ー」	75	5,700
特別展「美vid Ukiyo-e! 美人画浮世絵展」	51	4,731
特別展「加賀本多家ーその歴史と至宝ー」	38	3,850
企画展「THE 三河MANZAI」	32	2,375
特別展「女子のたしなみ～変わりゆく意識とくらし～」	38	3,126
合計	234	19,782

名称	開催回数(回)	参加人数(人)
特別展・企画展記念講演会	8	277

<特別展「美vid Ukiyo-e!」エントランス>



<特別展「加賀本多家」企画展示室>



○事業名 歴史博物館講座等開催事業 事業決算額 779,448 円

名称	開催回数(回)	参加人数(人)
歴博講座・入門講座	6	293
連続講座	10	252
松平シンポジウム	1	108
出前講座など	15	476
合計	32	1,129

<松平シンポジウム 会場:アンフォーレホール>



款	50	教育費	目	70	文化財保護費
項	25	社会教育費			

○事業名 史跡整備事業 事業決算額 8,098,757 円

史跡本證寺境内整備検討会議等開催	5 回	ワークショップ「未来寺子屋」の開催	8 回
ワークショップ参加者の門前市開催(2回)	1,913 人	石垣保護のための大型土のう積載等	1 件

◎ 国史跡本證寺境内保存活用整備事業

学識経験者及び地元住民による整備検討会議を開催し、基本計画策定のための課題を協議した。
市民参加による「歴史まちづくり」を進めるため、ワークショップ(WS)を開催し、参加者がイベントなどを企画、運営した。残念ながら、コロナ禍の影響により、中止したものもあった。
崩壊が懸念された石垣を保護するため、大型土のうを積載し、傾いた築地塀を支保で支えた。



<WS参加者による門前市>



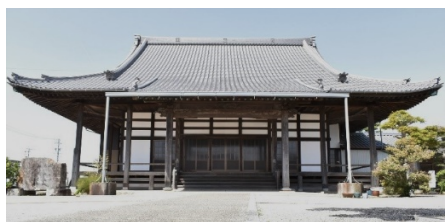
<WS参加者によるコスモス栽培>



<石垣を大型土のうで保護>

○事業名 文化財保護事業 事業決算額 9,399,549 円

市指定文化財の新規指定 木造 阿弥陀如来立像(本龍寺 和泉町)	1 件
国登録有形文化財(建造物)の新規登録 西心寺本堂・山門(川島町)	2 件



西心寺
本堂



西心寺
山門

○事業名 文化財啓発事業 事業決算額 1,332,544 円

安祥文化のさとまつりへの参加者	5,243 人	夏休み子ども考古学講座(2回実施)	29 人
出前授業等の実施(29回実施)	1,166 人	あおぞら歴史教室(3回実施)	32 人

○事業名 埋蔵文化財調査事業 事業決算額 73,678,138 円

発掘調査の 実施	発掘調査(本調査)実施	17 件	発掘のあゆみ展「発掘☆あんじょうの古代」	1,365 人
	試掘・確認調査実施	23 件	出土木製品保存処理点数	19 点
	埋蔵文化財有無照会	785 件	発掘調査報告書刊行数	2 冊

資料整理点数	9,835 点	資料受入(寄贈・購入)	24 件
--------	---------	-------------	------

款	50	教育費	目	85	丈山苑管理費
項	25	社会教育費			

○事業名 丈山苑管理事務 事業決算額 42,563,835 円

平成18年度に指定管理者制度を導入し、令和元年度から5年間の指定管理者としてピーアンドピー・深津園芸共同事業体が管理運営を行っている。

丈山苑利用状況

入苑者数	27,399 人
呈茶数	18,586 服
部屋利用者数	703 人

丈山苑事業実績

事業名	開催回数(回)	参加人数(人)
コンサートなど	12	1,251
茶会	3	923
展示会	11	5,637
その他	5	416
夜間開苑	3	760
合計	34	8,987

<新緑茶会>



<箏曲の調べ>



エ アンフォーレ課

款	50	教育費	目	55	図書情報館費
項	25	社会教育費			

○事業名 図書情報館資料貸出事業 事業決算額 96,630,444 円

市民の生涯学習拠点としての図書情報館のほか、公民館図書室等12か所のサービスポイントにおいて、貸出事業を実施した。

コロナ禍の影響もあったが年間の個人貸出は前年度比35万冊増、市民1人あたりの貸出冊数は10.35冊となり、コロナ禍前の状況に戻りつつある。

資料区分	蔵書合計(冊)	個人貸出(冊)	団体貸出(冊)	個人貸出利用者数(人)	
一般図書	540,823	1,043,983	6,676	一般	436,505
児童図書	258,917	758,085	158,618	児童	99,606
CD・DVD	16,448	91,341	13	合計	536,111
雑誌	27,964	63,773	100	図書情報館	296,747
合計	844,152	1,957,182	165,407	地区公民館等	239,364

○事業名 読書活動推進事業 事業決算額 3,773,930 円

○ 新美南吉の顕彰活動の継続

本市ゆかりの童話作家・新美南吉の顕彰、市制施行70周年及び令和5年の南吉生誕110年を記念して、第3回安城市新美南吉絵本大賞を実施するため、選考委員会を開催し、作品募集要項等を作成した。

また、市内小学校3校9クラス・269人に南吉出前授業を実施した。

○ 安城版ブックスタート事業

子どもの読書推進と子育て支援を目的に、保健センターの4か月児健診時に絵本の配付を行った。コロナ禍の影響で、読み聞かせの実演や本の貸出は休止した。

実施回数(回)	対象者(人)	実施者(人)
45	1,587	1,543



〈多言語読み聞かせ会の様子〉

○ おはなし会・行事・講座等

こども向けイベント	回数(回)	人数(人)
館内おはなし会	54	752
出前おはなし会等	256	8,340
行事(クリスマス会等)	14	204
延べ	324	9,396

総合計(①+②)

386回・10,305人

一般向けイベント	回数(回)	人数(人)
館内おはなし会	14	94
保護者対象の出前講座等	26	295
ボランティア等対象の講座	8	125
講演会・講座等	14	395
延べ	62	909

①

②

○事業名 図書情報館ICT活用事業 事業決算額 340,772,602 円

ハイブリッド型図書館としての機能充実を図るため、ICT機器を更新した。また、必要なシステム等の保守・運用を行うとともに、データベース、電子書籍などを提供した。

主な事業	金額(円)	備考
図書情報館ICT機器更新委託料	264,696,559	ネットワーク、システム、情報機器類
図書館システム運用保守委託料	44,841,192	施設予約システムを含む
情報機器類保守委託料	2,992,000	電子新聞ディスプレイなど
利用者用パソコンデータベース使用料	3,870,229	15種類
電子書籍使用料	3,924,286	3,151タイトル・令和3年度貸出7,325回

(2)第4次安城市生涯学習推進計画の進捗状況について

計画の指標(数値目標)

A: R7の目標を達成
B: R7の目標を達成していない
が前年度実績よりも改善
C: R1実績よりも後退

				C (CHECK)→A (Action)	
	施策・事業名	目標値 (R7)	実施時期(年度)	R3実施状況(成果と課題)	評価区分
			R3		
1	生涯学習に対する満足度	65%	65.0%	2年に1回の市民アンケートで調査の項目別では3番目に高い満足度であった。	A
2	生涯学習講座・教室の受講者数	7,500人 (15,000人)	6,230人	幅広い分野や内容の講座・イベントを企画し、開催に努めた。市民ニーズを把握し、地域住民のニーズにあったものと生涯学習課として取り組むべき社会的課題を盛り込ませた講座を今後企画していく必要がある。 参考 R2: 4, 230人	C
3	1年間に新たに活動を始めた自主グループ数	15グループ (30グループ)	18グループ	公民館講座等の参加者による自主グループ化があった。また、年に1回会員募集をしている自主グループを一覧化した冊子を公共施設に配布し、活動支援に努めた。 参考 R2: 24グループ	A
4	市民自らが企画・運営する講座数	20講座	16講座	市民団体が自ら企画・運営する市民企画講座の積極的な募集に努めるなど、市民の主体的な学びを支える環境づくりに努めた。 参考 R2: 15講座	B

第4次安城市生涯学習推進計画

1 多様なニーズに応じた学びの機会の提供(学習機会の充実)

(1) 市民ニーズに応じた学習の提供

				D (Do)		C (CHECK)→A (Action)	
新施策番号			施策・事業名	区分	実施内容 (指標)	実施時期 (年度)	R3実施状況(成果と課題)
						R3	
1	1	2	公民館等における幅広い分野での学習講座の提供	重点	①文化センター主催講座数 ②地区公民館主催講座数 ③青少年の家主催講座数	190講座	現代的課題や市民ニーズに対応した講座を幅広く企画・実施した。難しい講座名であると受講者が集まりにくいというのが現状である。
1	1	4	オンライン方式の講座やICTの知識やスキルを習得するためのセミナーの開催 ★新規	重点 新規	①制作動画数 ②ICT関連講座数	10講座	幅広い世代を対象としたICTの知識やプログラミング関係の講座を企画した。オンライン方式の講座をさらに組み込み、開催していく必要がある。

(2) ライフステージに応じた学習の提供

				D (Do)		C (CHECK)→A (Action)	
新施策番号			施策・事業名	区分	実施内容 (指標)	実施時期 (年度)	R3実施状況(成果と課題)
						R3	
1	2	7	(シニア) 高齢者向け講座 の開催	重点	①高齢者教室の講座回数 ②シルバーカレッジ講座回数 ③レベルアップ講座回数 ④高齢者または定年前世代向け講座回数(ICT関連除く) ⑤ICT関連講座回数	139講座	高齢者の社会適応能力を高め、生きがいを求める学習、健康づくり・介護予防につながる学習の機会を提供した。また、シニア向けのスマホ講座など高齢者向けのICT知識・スキルを習得するための講座開催にも努めた。

(3) 安城市の地域資源を活かした学習の提供

				D (Do)		C (CHECK)→A (Action)		
新施策番号				施策・事業名	区分	実施内容 (指標)	実施時期 (年度)	R3実施状況(成果と課題)
							R3	
1	3	1		地域資源、ものづくり文化を伝承する学習プログラムの実施	重点	①ものづくり講座数 ②利用相談会数 ③利用講習会数 ④農業・歴史等地域資源講座数	84講座	文化センターにあるレーザー加工機や3Dプリンターといった工作機器を使用した講座や講習会を積極的に開催した。

第4次安城市生涯学習推進計画

1 多様なニーズに応じた学びの機会の提供(学習機会の充実)

(1)市民ニーズに応じた学習の提供

				D(Do)		C (CHECK)→A (Action)
新施策番号	施策・事業名			実施内容 (指標)	実施時期(年度)	R3実施状況(成果と課題)
					R3	
1	1	1	市民ニーズ把握のためのアンケートの実施	①公民館講座アンケート回収講座数 ②青年講座アンケート回収講座数	160講座	アンケート内容をもとに講座企画担当者が集まる講座企画連絡会で情報の共有と市民ニーズを把握し、次年度以降の講座企画に生かした。
1	1	3	まちかど講座の開催	総メニュー数	71メニュー	多くの市民が興味を持ってそうなタイトルの学習会メニュー(まちかど講座)を用意し、積極的に開催した。また、年に一度メニュー内容の見直しも行った。

(2)ライフステージに応じた学習の提供

				D(Do)		C (CHECK)→A (Action)
新施策番号	施策・事業名			実施内容 (指標)	実施時期(年度)	R3実施状況(成果と課題)
					R3	
1	2	1	(子ども) 子どもの生涯学習事業	プログラミング・キャリア教育講座数	11講座	子ども(主に小学生)を対象にプログラミング講座やお金の使い方といったキャリア講座を開催した。対象に関して、小学校低学年と高学年に分けて開催するなど対象設定に工夫した。
1	2	2	(青少年) 青少年の体験学習機会の充実	①職場体験学習件数 ②公民館まつり等ボランティア件数	7件	各公民館(文化センター含む)で積極的に職場体験学習の受け入れを行った。令和3年度は公民館まつりをコロナ禍の影響で開催できなかった館もあったため、次年度以降は積極的にボランティア体験の機会提供に努めたい。
1	2	3	(青少年) 青少年のキャリア教育の実施	①ユースカレッジ回数 ②ジュニアリーダークラブ回数	31回	専門的知識を有する方を招き講座を開催したことや、自分たちで研修を行うことによってリーダーとしての素養を身に付けることができた。同時に仲間づくりの機会を提供することができた。
1	2	4	(成人) 家庭教育学級等、地域と連携した家庭教育の充実	①家庭教育学級の開催回数 ②乳幼児学級の開催回数 ③地域で子育て活性化事業の開催回数	83回	家庭教育学級、乳幼児学級、地域で子育て活性化事業など家庭教育に関する講座を開催した。コロナ禍での開催となったため、申込定員を減らすかわりに、申込時期を前期・後期に分けて開催するなど工夫した。
1	2	5	(成人) 働き盛り世代向けの講座の実施	土日の18歳以上・親子の講座、平日夜間(18時以降)の講座数	84講座	土日や平日夜間(18時以降)等の日にち・時間帯を設定することで働き盛り世代が積極的に講座に参加する機会の提供に努めた。
1	2	6	(成人) 託児付き講座の開催	託児付き講座数	18講座	子育て世代が講座参加しやすいように託児付きで講座開催をした。また、託児世話人を対象とした研修会を開催予定していたがコロナ禍の影響で中止となったため、資料を配布した。
1	2	8	(全年齢) 現代的な課題に対応した講座の開催	①現代課題講座数 ②市民大学開講数 ③連携した講座数	41講座	現代的な課題に関する学びの機会を提供するための講座開催に努めた。また、庁内各課との連携講座では、市役所他課の専門的知識を有する職員を講師として招き、講座を開催した。

2 学びの成果を地域に活かすつながりづくり(学習成果の活用)

(1)自主グループの育成と地域の絆づくり

				D (Do)		C (CHECK)→A (Action)
新施策番号				実施内容 (指標)	実施時期(年度)	R3実施状況(成果と課題)
					R3	
2	1	1	公民館の利用促進	①地域ふれあい事業参加者数 ②文化センター講座・イベント、公民館講座受講者数(申込者数)	10,404人	コロナ禍による感染対策に十分配慮した上で地域ふれあいイベントやホールピアノ体験といったイベントを開催した。
2	1	3	自主グループの活動発表の場の提供	①公民館まつり回数 ②芸能まつり回数 ③作品展示等で上記以外の回数	49回	今年度はコロナ禍の影響で公民館まつりを開催した館が3館だけとなった。
2	1	4	生涯学習ボランティアセンターの充実	①登録団体数 ②ボランティア支援センター会議開催数	15件	市民団体として活動している団体の講座企画打合せ等でボランティアセンターを利用していただき、ボランティアセンター利用促進を図った。
2	1	5	地域住民の意見を反映した公民館活動の推進	①活動推進協議会会議数 ②北部コミュニティ会議数	42回	コロナ禍による影響で一部公民館活動推進協議会を書面にて開催した。

(2)ボランティア活動等への橋渡し

				D (Do)		C (CHECK)→A (Action)
新施策番号				実施内容 (指標)	実施時期(年度)	R3実施状況(成果と課題)
					R3	
2	2	1	ボランティア入門講座の開催	①シルバーカレッジでの開催数 ②公民館講座数	188講座	シルバーカレッジや公民館の講座等で仲間作りに繋がった。ボランティア意識啓発にも繋がるような内容を企画する必要がある。
2	2	2	ボランティア活動団体の情報提供	①市民出前講座実施団体数 ②青少年ボランティアセンター登録数	52件	市民出前講座のメニュー多様化を推進するため、年1回メニュー内容の見直しを行った。

3 市民の主体的な学びを支える環境づくり(学習環境の整備)

(1)市民の主体的な学びの支援と生涯学習の総合的な情報提供

				D (Do)		C (CHECK)→A (Action)
新施策番号				実施内容 (指標)	実施時期(年度)	R3実施状況(成果と課題)
					R3	
3	1	2	若者が企画・立案する生涯学習の推進	①成人式実行委員会人数 ②ユースカレッジの人数 ③ヤングセミナーの人数	48人	実行委員が自ら企画・運営する機会をつくることで、主体的な学びを支える環境づくりに努めた。
3	1	3	生涯学習情報の提供	あんてな発行回数	4回	年4回、あんてな冊子版を市内公共施設に、あんてな概要版を市内全世代に配布し、情報提供に努めた。また、あんてなアプリを導入し、紙だけではなく電子媒体としてわかりやすく市民に提供した。
3	1	4	ICTの活用による情報提供	望遠郷の生涯学習に関するページ閲覧数	42,526回	あんてな発行に合わせて、最新情報への更新をスムーズに行った。また、あんてなアプリと市のHPをリンクし、効果的な情報提供に努めた。

(2)相談体制の充実

				D (Do)		C (CHECK)→A (Action)	
新施策番号			施策・事業名	区分	実施内容 (指標)	実施時期(年度)	R3実施状況(成果と課題)
						R3	
3	2	1	生涯学習活動の相談の対応 や地域活動のコーディネート ができる人材の育成		相談・コーディネートの人材 育成講座数	1講座	県派遣の講師を東京からお招きし、地 域コーディネーターになるのに必要な知 識に関する講義を行ってもらった。
3	2	2	相談窓口の充実		①自主グループに関する相 談件数 ②市民企画講座相談件数 ③ボランティア支援センター 会議開催数	145件	自主グループ化や講座を企画する上での 相談が多くあり、市職員で対応した。 今後そういった相談に対応できる人材を 発掘していく必要がある。

(3)指導者の発掘・育成・活用

				D (Do)		C (CHECK)→A (Action)	
新施策番号			施策・事業名	区分	実施内容 (指標)	実施時期(年度)	R3実施状況(成果と課題)
						R3	
3	3	1	地域からの人材の発掘		市民(隣接市含む)の新機 講師登録数	9件	講師からの売り込みに関して積極的に 登録をし、毎月公民館職員が集まる会 で情報共有に努めた。
3	3	2	指導者の人材育成		公民館講座等で市民(隣接 市含む)の新規講師を登用 した数	23件	公民館講座において積極的に新規講師 の登用に努めた。
3	3	3	指導者情報の活用		更新回数	0回	市HP(ホームページ)に情報を公開して いる。各館での新規講師などの情報を 収集しているが、新規情報の掲載がな い状況である。

(4)生涯学習施設の維持管理と運用

				D (Do)		C (CHECK)→A (Action)	
新施策番号			施策・事業名	区分	実施内容 (指標)	実施時期(年度)	R3実施状況(成果と課題)
						R3	
3	4	1	生涯学習施設の維持管理		施設保全計画記載の修繕・工事数	5件	施設保全計画に基づいた修繕・工事を行った。
3	4	2	ICT環境の整備・充実		電子申請システムを使用して申込を実施した講座・イベントの数	195講座	公民館講座で電子申請システム(ネット申込)を使用した申込を行い、誰もが気軽に申込できるようにした。

5 連絡事項

令和4年度社会教育委員関係会議等

会議名等	日時・会場	内容
第1回安城市社会教育 審議会	7月15日（金） へきしんギャラクシープラザ	令和3年度各課事業報 告ほか
地域とともにある学校 づくり 愛知フォーラ ム・研修会2022	8月19日（金） へきしんギャラクシープラザ	事例発表、講演会等 ※オンライン参加
東海北陸社会教育研究 大会	10月13日（木） ～14日（金） 愛知県東海市 東海市芸術劇場	記念講演会・分科会等
第2回安城市社会教育 審議会	3月予定 へきしんギャラクシープラザ	令和5年度各課事業案 ほか
県社連西三河支部 第2回地区研修会	東海北陸社会教育研究 大会を代替とする	

変更になる場合があります。